

みちびきを使った実証実験のイメージ（報道発表資料から）



車線別の路面状況

衛星測位使い提供

パソコンとオリコンサルグローバル フィリピンで実証実験

パシフィックコンサルタ
ンツとオリエンタルコンサ
ルトンツグローバルは、フ
ィリピンで衛星測位システ
ムと車載センサーを使い、
車線別路面状況提供サービ
スの実施に向けた実証実験
を展開する。車線別にポツ
トホールなどの損傷箇所を

効率的に検知することで、
損傷の予測や最適なタイミ
ングでの補修など低コスト
な道路の維持管理を目指
す。

実証実験では準天頂衛星
システム「みちびき」と、
一般車両に搭載された車載
センサーを使ってセンチメ

ートル単位で路面の凹凸を
計測したり、凹凸の位置情
報を収集したりする。

パシフィックコンサルタ
ンツはマニラ首都圏とルソ
ンの北部・中部を結ぶ三つ
の主要高速道路の建設・運
営事業者NLEXコーポレ
ーションと協力。みちびき
を使った走行データと、N
LEXコーポレーションが
計測した運転者の乗り心地
の評価結果との関係を分析
している。

2023年10月と今年2
月の走行実験で得た走行デ

ータと、乗り心地の国際的
な指標IRI（国際ラフネ
ス指標）の相関性を検証。
今後は実証実験の結果を踏
まえサービスの実用化へ取
り組みを進める。

道路走行時の快適性確保
には、道路の定期的な点検
や補修が重要となる。しか
し、維持管理を継続させる
ためのコストの確保が課題
となっており、道路管理者
などは低コストで効率的に
点検できる手法を模索して
いる。